参考様式第５－２号

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年10月30日 （第3回）
目標年度	令和16年度
市町村名 （市町村コード）	刈谷市 （232106）
地域名 （地域内農業集落名）	刈谷北部地区 （井ケ谷・西境・東境・一里山・逢見山）

1　地域における農業の将来の在り方

（1）　地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	327.9 ha
①　農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	327.9 ha
②　田の面積	210.3 ha
③　畑の面積（果樹、茶等を含む）	117.6 ha
④　区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤　区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	23.6 ha
（備考）	

（2）　地域農業の現状及び課題

当地区は水田が約6割、畑地・樹園地が約4割を占めており畑地・樹園地が多い。地区内の担い手は31名（個人30・法人1）で担い手への集積率は約40%である。大規模営農と個人農家が入り乱れたエリアもあり、土地改良事業が行われたエリアについては担い手への集積・集約化が進んでいるが、耕作条件が不利な農地も多くある。また、農業用水路の水が4月から9月にしか来ないエリアもあり、耕作に影響が出ている。

（3）　地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

水田における水稲のほか、露地野菜や施設野菜、果樹を栽培する。また、畑地等を耕作する担い手に対し、集積・集約化を進める。

2　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（1）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構や基盤整備事業を活用した農用地の集積・集約化や新たな担い手の確保に努める。

（2）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	39.6　％	将来の目標とする集積率	47　％

（3）農用地の集団化（集約化）に関する目標

法人化への取組みを検討し、地域の担い手を組織化することで農用地の集団化（集約化）を図る。

3　農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

（1）農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、担い手や新たな農業者等への農用地の集積・集約化を進める。
（2）農地中間管理機構の活用方法
基盤法による相対の利用権で設定されている農用地については、目標地図に基づき、農地中間管理機構を活用した利用権設定に切り替え、農用地の集積・集約化を進める。
（3）基盤整備事業への取組
令和元年度着手の経営体育成基盤整備事業西境地区については継続して事業を進めていき、井ケ谷地区については今後事業に着手する。
（4）多様な経営体の確保・育成の取組
法人化の取組みを検討しながら、多様な経営体が協力・連携して営農を進める。また、圃場整備や遊休農地の整備などにより、新規就農者や他地区からの参入を図る。
（5）農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農業支援サービスを行う事業体の情報を集約し、地域内で共有することで、作業委託を必要とする経営体が積極的に活用できる環境整備を行う。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④畑地化・輸出等		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等		⑦保全・管理等		⑧農業用施設		⑨耕畜連携等		⑩その他

【選択した上記の取組内容】

4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状			10年後（目標年度：令和16年度）				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		

別紙1のとおり

5　農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名（氏名・名称）	作業内容	対象品目

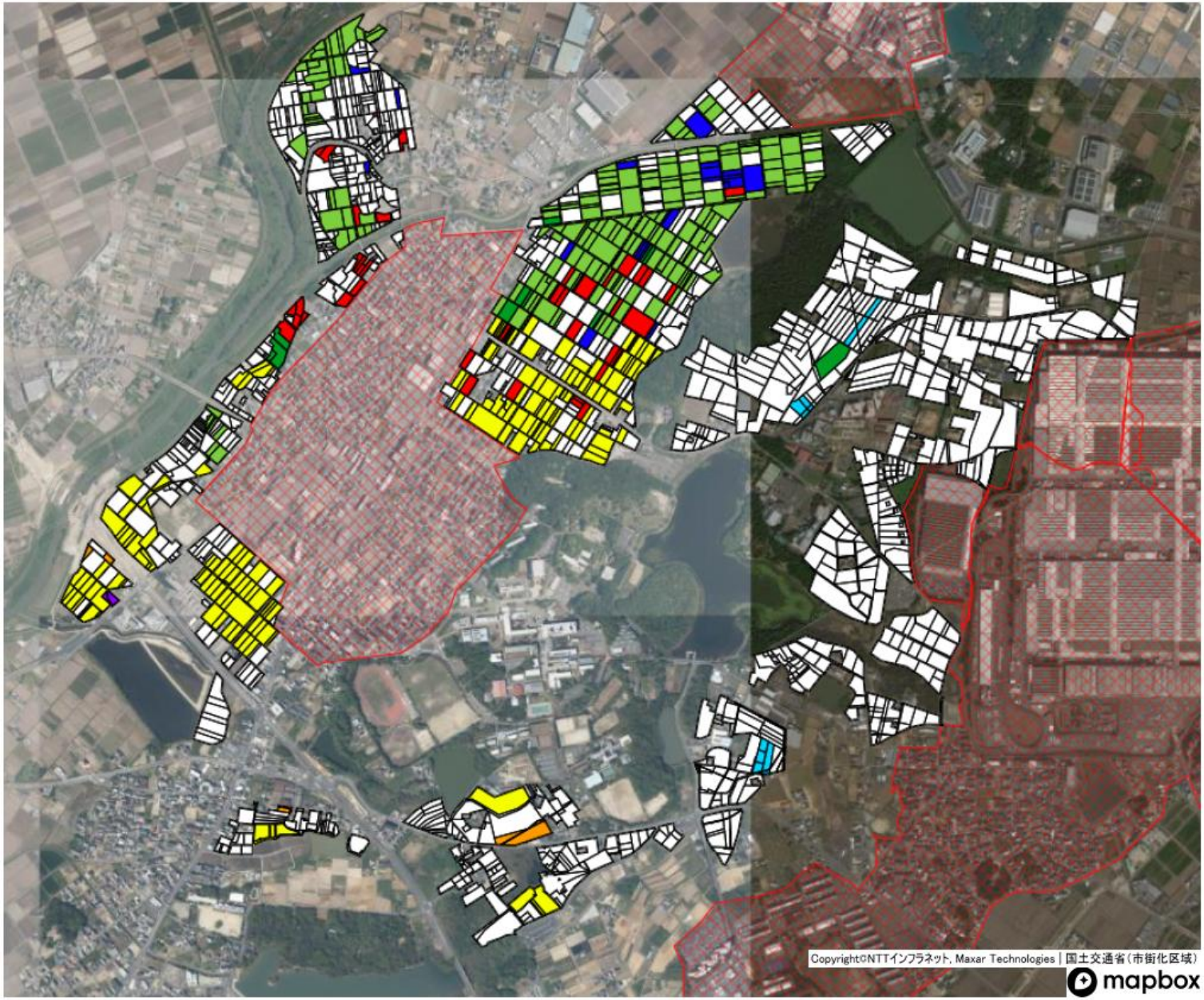
6　目標地図（別添のとおり）

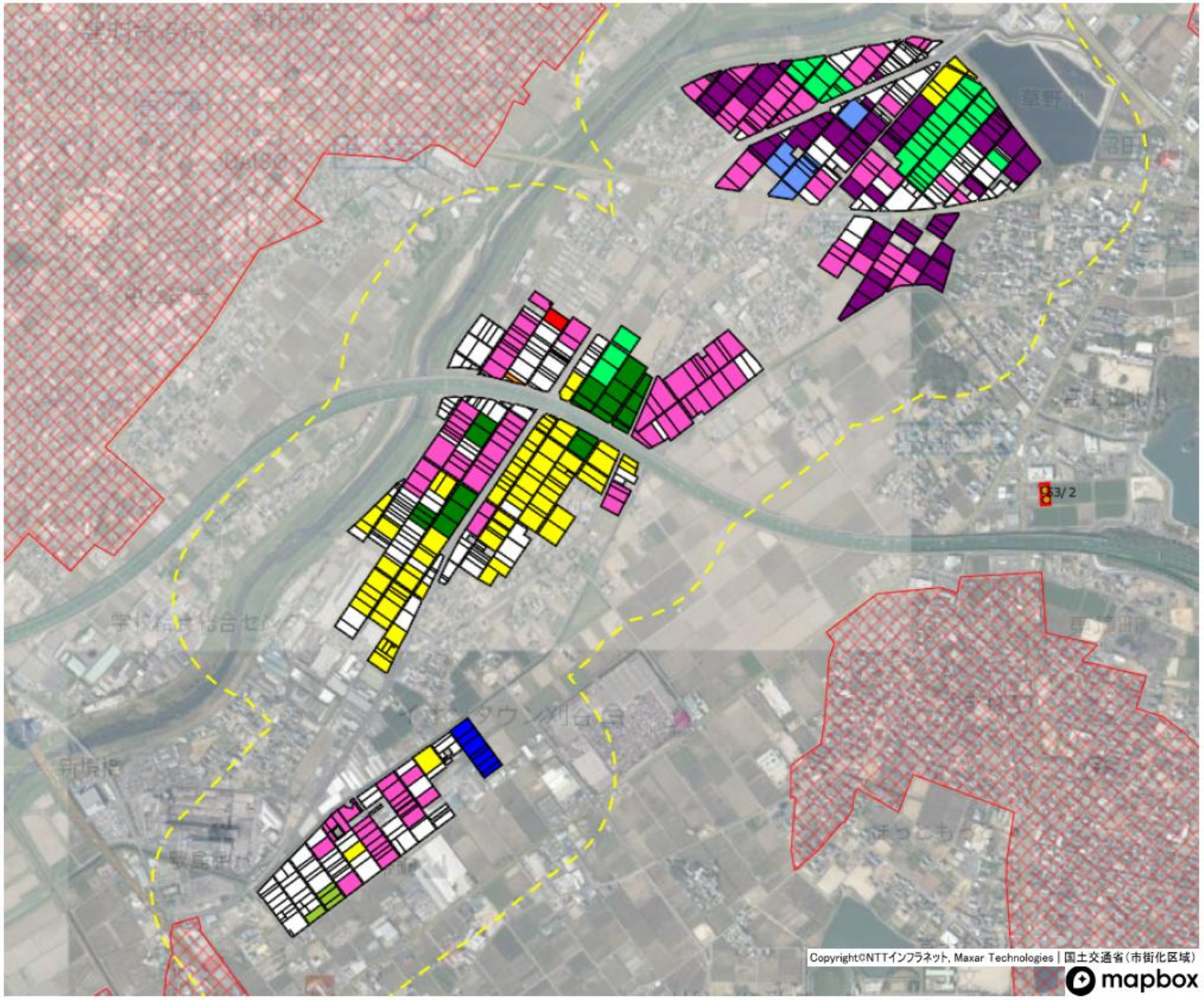
7　基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

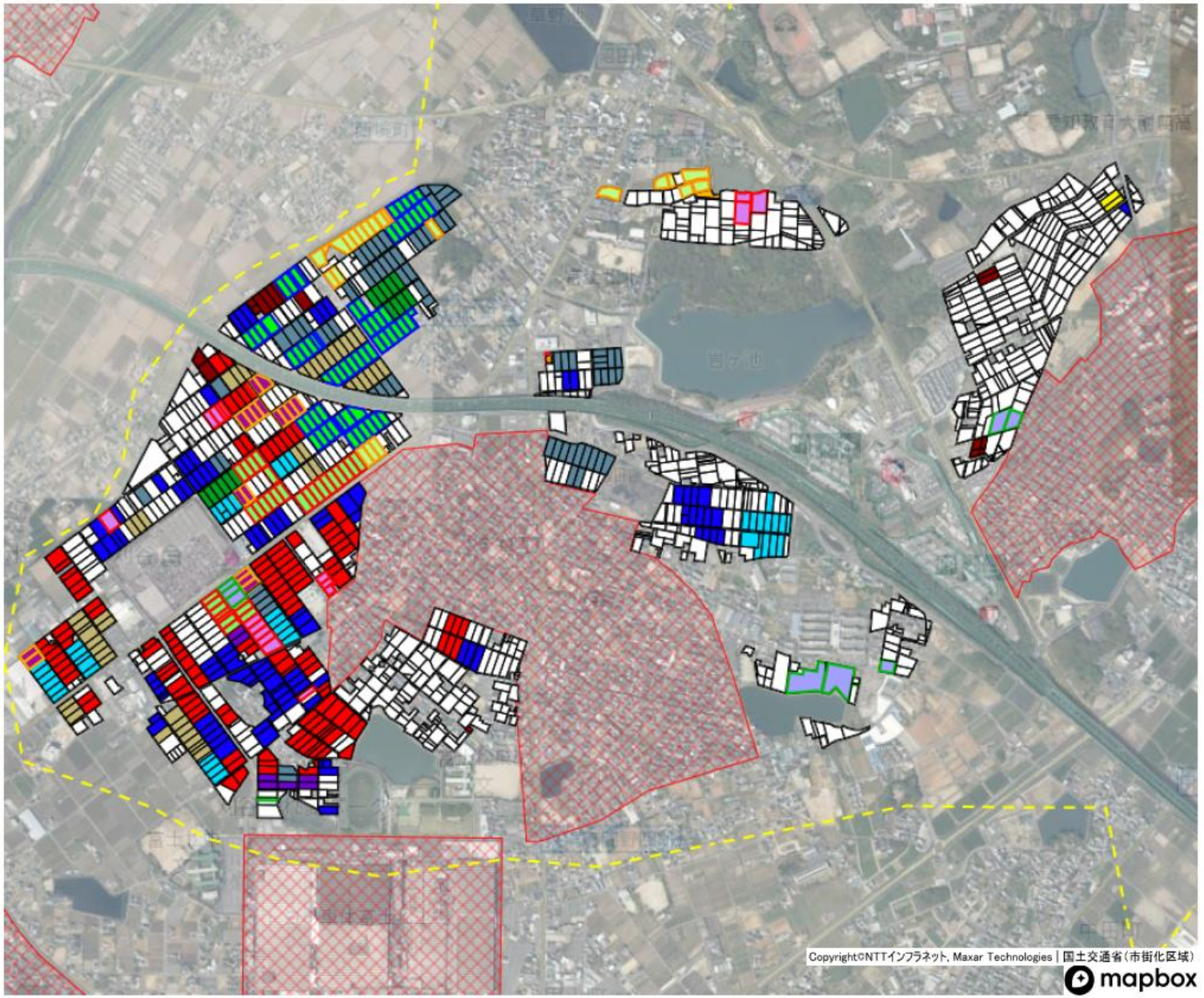
農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・%）	

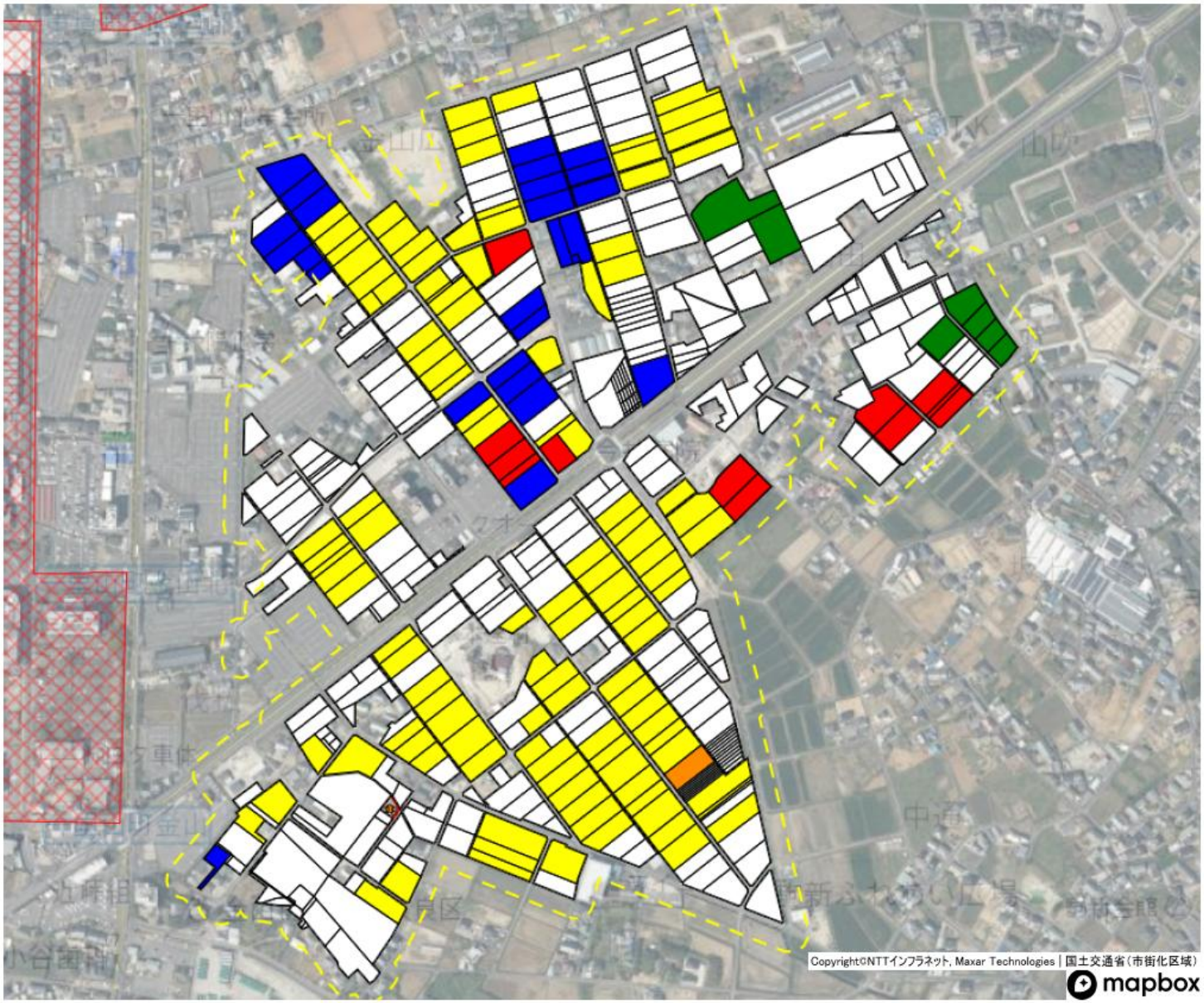
4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）　　別紙1

属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状			10年後（目標年度：令和16年度）				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	A	水稲	1.2 ha	0 ha	水稲	2.1 ha	0 ha	A	
利用者	B	水稲	3.4 ha	2 ha	水稲	3.9 ha	2 ha	B	
利用者	C	水稲・露地野菜・果樹	1.1 ha	0 ha	水稲・露地野菜・果樹	1.5 ha	0 ha	C	
認農	D	水稲・麦・露地野菜	9.2 ha	13 ha	水稲・麦・露地野菜	16.6 ha	13 ha	D	
認農	E	水稲・露地野菜・果樹	1.0 ha	0 ha	水稲・露地野菜・果樹	2.2 ha	0 ha	E	
利用者	F	水稲	0.1 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	F	
利用者	G	果樹	0.9 ha	0 ha	果樹	0.9 ha	0 ha	G	
認農	H	果樹	0.3	0 ha	果樹	0.0	0 ha	H	
認農	I	水稲・麦・大豆	9.6 ha	5 ha	水稲・麦・大豆	21.9 ha	5 ha	I	
認農	J	水稲	11.8 ha	0 ha	水稲	13.2 ha	0 ha	J	
認農	K	水稲・麦	6.2	0 ha	水稲・麦	6.2	0 ha	K	
利用者	L	水稲・麦	0.2 ha	0 ha	水稲・麦	0.2 ha	0 ha	L	
認農	M	水稲	3.2 ha	0 ha	水稲	3.2 ha	0 ha	M	
認農	N	水稲・里芋	9.0 ha	0 ha	水稲・里芋	9.0 ha	0 ha	N	
利用者	O	水稲	0.0 ha	0 ha	水稲	0.0 ha	0 ha	O	
認農	P	水稲・麦・露地野菜・果樹	8.4 ha	0 ha	水稲・麦・露地野菜・果樹	7.2 ha	0 ha	P	
認農	Q	水稲・果樹	4.1 ha	0 ha	水稲・果樹	4.4 ha	0 ha	Q	
認農	R	水稲・麦・大豆	4.9 ha	0 ha	水稲・麦・大豆	5.1 ha	0 ha	R	
認農	S	水稲・露地野菜・果樹	18.8 ha	0 ha	水稲・露地野菜・果樹	18.8 ha	0 ha	S	
認農	T	水稲	1.0 ha	10 ha	水稲	1.0 ha	10 ha	T	
認農	U	水稲・露地野菜・果樹	2.3 ha	3.5 ha	水稲・露地野菜・果樹	1.5 ha	1.5 ha	U	
利用者	V	水稲	0.1 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	V	
認農	W	水稲	3.0 ha	0.1 ha	水稲	3.0 ha	0.1 ha	W	
認農	X	水稲・露地野菜	3.5 ha	0 ha	水稲・露地野菜	4.0 ha	0 ha	X	
認農	Y	水稲・露地野菜	1.8 ha	0.6 ha	水稲・露地野菜	1.8 ha	0.6 ha	Y	
認農	Z	水稲	3.1 ha	2 ha	水稲	3.1 ha	2 ha	Z	
認農	a	果樹	2.0	0 ha	果樹	2.0	0 ha	a	
認農	b	露地野菜・施設野菜	1.3 ha	0 ha	露地野菜・施設野菜	1.3 ha	0 ha	b	
認農法	c	水稲・露地野菜	17.7 ha	0 ha	水稲・露地野菜	18.2 ha	0 ha	c	
認農	d	果樹	0.6 ha	0 ha	果樹	0.9 ha	0 ha	d	
認農	e	水稲・麦・大豆	0.1 ha	0 ha	水稲・麦・大豆	0.1 ha	0 ha	e	
計	31経営体		129.9 ha	36.2 ha		153.5 ha	34.2 ha		


N
W
E
S
刈谷北部（井ケ谷）
A
B
C
D
E
F
G
H
I
今後検討
Copyright©NTTインフラネット, Maxar Technologies | 国土交通省（市街化区域）
mapbox


N
W
E
S
刈谷北部（西境）
J
L
M
N
O
E
P
Q
R
S
今後検討
Copyright©NTTインフラネット, Maxar Technologies | 国土交通省（市街化区域）
mapbox


N
W
E
S
刈谷北部（東境）
T
J
K
U
M
V
W
X
Y
Z
R
S
a
I
b
c
今後検討
Copyright©NTTインフラネット, Maxar Technologies | 国土交通省（市街化区域）
mapbox


N
W
E
S
刈谷北部（一里山）
W
S
d
c
e
今後検討
Copyright©NTTインフラネット, Maxar Technologies | 国土交通省（市街化区域）
mapbox